



いたこしりつとしょかんだより「くろーぱー」

クローパー

●2009年 7月号 Vol.38●

潮来市立図書館 Itako Library 〒311-2436 茨城県潮来市牛堀 289

TEL 0299-80-3311 FAX 0299-64-5880 e-mail:lib@itako.ed.jp

<https://lib.itako.ed.jp/>(パソコン) <https://lib.itako.ed.jp/i/ihome.html>(携帯)

皆既日食を見よう★

～ECLIPSE 2009～

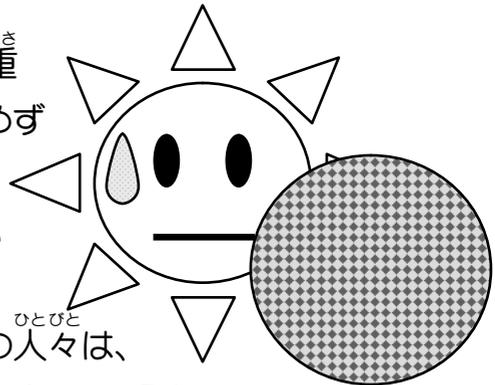
こんげつ ねん がつ にち にほん かいぎにつしよく み
今月(2009年7月22日)は、日本で「皆既日食」が見られるチャン
すがやってきます!! わたし す かんとう ちほう ぶぶん
私たちの住んでいる関東地方でも、「部分
日食」が見られますよ。

かいぎにつしよく たいよう つぎ かんぜん かせ
皆既日食とは、太陽と月が完全に重
なり月の影が地球に写る、非常にめず
らしい現象です。げんしょう ちきゅう わたし
地球にいる私たちからは、たいよう か
太陽がだんだん欠けてい
くように見えます。

にっしょく かいめい ひとびと
日食が説明されていなかったころの人々は、
この神秘的な現象にさぞ、おどろ
この神秘的な現象にさぞ、驚いたことでしょうね。

にっしょく お し ぐ いま じんびてき げんしょう
日食が起こる仕組みがわかった今でも、めずらしく神秘的な現象
であることには変わりありません。

たいよう つぎ かせ と き だれ み
太陽と月が重なる瞬間、あなたはどこで誰と見ますか・・・?



皆既日食を知るには・・・

★★ 本の紹介

日食が載っている本です。写真やイラストでわかりやすく説明されています。このほかに、本はあります。詳しくは館内にあるリストをご覧ください。

おすすめ本
コーナーに
あります。

『天体観測の教科書』／443 ぴ

月が星を隠す星食や、月食、日食など、天文ファンに人気の天体観測について、専門的知識を織り交ぜながら、そのノウハウをわかりやすく解説されています。星食・月食・日食観測の面白さが伝わる1冊です。

『すごい空の見つけ方』／451 夕

飛行機から見下ろした、マグマのように赤く光る雲の群れ。20キロ先から頭上へと空を走ってきた稲妻。気象写真の第一人者が、30年以上の撮影歴の中で探し求めてやっと出会えた美しい空や、偶然に出会った想像を絶する空の写真、40点あまりが掲載されています。その現象が起こる理由や、どうすれば見られるのかを、実体験と科学的知見をもとに解説します。

『完全ガイド皆既日食』／443 ㊦

2009年7月22日、日本で46年ぶりの皆既日食が見られます。日食のしくみや特徴、観察方法だけでなく、未来の日食の話、日食を追う人びと、日食観測史などを紹介しています。太陽と月のドラマを親子で楽しむ日食の完全ガイドです。

『星と月のコレクション』／443 ㊦

『星空を歩く本』／443 ㊦

『月・太陽・惑星・彗星・流れ星の見かたがわかる本』／442 ㊦

☆☆ インターネットで調べる

日食について知ることができる、おすすめのホームページです。

◎国立天文台ホームページ:皆既日食の情報

<http://www.nao.ac.jp/phenomena/20090722/index.html>

日食の観察方法や日食がおこる仕組みなどが解説されています。日本各地の最大食分図も載っているので、日食が始まる時間なども知ることができます。

◎北海道大学情報基盤センター:日食・月食データベース

<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~x10553/>

このホームページでは、紀元前2000年から紀元後3000年までの5000年間にあける、日食情報が取得できます。日食図から、地球上のどの場所で、何時、どんな日食が起きるかや、金環食・皆既食などについての情報もあります。グーグルマップでの表示なので、リアルでわかりやすい地図を見ることができます。

☆☆ 科学雑誌の紹介

タイトル	内容
『天文ガイド』	はじめての人にも良くわかる月刊天文誌です。読んで知識を身につけるだけでなく、誰もが天体観測を楽しんだり、天体写真の撮影ができるように、一般向きのわかりやすい解説記事が掲載されています。最新の天文学や宇宙開発関係の専門の記事などの紹介もあり、幅広い読者の支持を得ています。
『Newton』	ページ全面に展開するスーパーイラストレーションや美しくダイナミックな写真の数々、そして第一線の研究者に取材した正確でわかりやすいレポートが特長です。

『日経サイエンス』	世界の最新科学・技術情報の翻訳に加え、日本発の 情報も積極的に紹介されています。自然科学のみならず、 医学、コンピューター、環境などあらゆる分野を網羅し、 各テーマについてノーベル賞受賞者を含む一流の科学者が 詳しく解説しています。
『子供の科学』	小学校高学年・中学生向けの科学雑誌です。身近な現象から最先端の 研究成果まで自然科学のさまざまな事柄についてのやさしい 解説のほか、手軽に科学の面白さや物作りの楽しさを体感できる 実験・工作の記事が満載です。

★★ 日食中継

各地の皆既日食の様子をライブ中継で伝える団体が映像を共有し、インターネットや全天映像など、さまざまなメディアを通して世界に発信されます。これで、じっくり観察するのも1つの方法ではないでしょうか？

◎LIVE! ECLIPSE 2009

<http://www.live-eclipse.org/>

2009年7月22日に中国および日本近海で起こる皆既日食を、中国大陸、奄美大島、キリバス等(予定)の多地点からインターネットを通じてライブ中継します。ライブ!ユニバースは、これまで14回の日食を世界各地からインターネット中継を行なってきました(うち7回はLIVE! ECLIPSE実行委員会の名称で実施)。日食中継プロジェクト、LIVE! ECLIPSE 2009は、非営利団体ライブ!ユニバースが中心となり、協力企業・団体と共に実施します。世界的にもユニークな活動を続けている団体です。

◎国立天文台皆既日食観測中継

<http://www.nao.ac.jp/>

東京から 1200km南方の小笠原諸島に位置する硫黄島にて、皆既日食を観測します。硫黄島は、今回の皆既日食帯において、比較的気象条件に恵まれた場所でも、安定した観測が期待できます。この場所から、JAXA/情報通信研究機構が運用する超高速インターネット衛星「ぎずな」を利用して、ハイビジョン映像にて、皆既日食のみならず、海から迫り来る皆既日食帯や、動植物達の鼓動の変化など、日食を取り巻く自然の変化も伝えられる予定です。

★★ 世界天文年

今年「世界天文年」です。2009年はイタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた 1609年から、400年の節目の年です。国際連合、ユネスコ(国連教育科学文化機関)、国際天文学連合は、この2009年を「世界天文年」と決めました。

世界中の人々が夜空を見上げ、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうこと。それが世界天文年の目的です。「日食観察ガイド」も載っているので、日食についての情報も得ることができます。

◎世界天文年 2009 ホームページ

<http://www.astronomy2009.jp/>

★★ イベントに参加してみよう

7月には日食に関係するイベントも多く開催されます。茨城県内でも天体観測会や日食を見るイベントがありますので、参加してみるのもいいのではないのでしょうか？

定休や臨時休業については、各開催会場のホームページなどでご確認ください。



■ : 休館日
きゅうかんび

□ : 午後1時から
ごごいちじから

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

課題図書かだいとしよの貸出かしたしについて

課題図書かだいとしよの貸出かしたしはもう始まっていますが、7月1日きかん（水）より期間さつすうや冊数さつすうなどが変更へんこうになります。本ほんは新刊しんかんコーナーきぼうにあります。希望きぼうの本ほんが棚たなにない場合ばあいは予約よやくができますので、用紙ようしにご記入きにゆうのうえ、カウンターわがまでお願いします。

貸出期間かしたしきかん：1週間

貸出冊数かしたしさつすう：1人1冊まで

対象たいしやう：市内在住・在学・在勤者

◎各地区公民館かくちくこうみんかん（牛堀うしほりは除く）にもあります。お問い合わせとあの上うえ、ご利用りようください。

映画会えいがかいの予定 場所：図書館2階 視聴覚室

日にち	曜日	午後2時～	出演
4日	土	素敵で小さなお話	
12日	日	天使のくれた時間	ニコラス・ケイジ / ティア・レオニ
18日	土	すばる望遠鏡	
26日	日	私の頭の中の消しゴム	フォク・ウツノツノ・イヅン

8月7日
↓
22日
↓
28日

一日司書体験

色色

※申込必要

おはなしかい → おはなしの部屋 14:00～

7/5（日）：「七夕」 図書館スタッフ

7/11（土）：「海」 いたこおはなし会

7/25（土）：「星」 うしほりおはなし会



→ 子育て広場 11:30～

7/2（木） うしほりおはなし会

7/16（木） 図書館スタッフ